

東大阪中央ロータリークラブ

創 立 昭和47年2月20日
 例会日 毎週月曜日 12:30~
 例会場所 シェラトン都ホテル大阪 3F
 事務局 大阪市天王寺区石ヶ辻町2-8
 〒543-0031 クレアツィオーネ上本町 704号
 TEL : 06-6772-2327
 FAX : 06-6772-2327
 E-mail : hcrcc@at.wakwak.com



会 長 細川 勝治
 会長エレクト 三木 武志
 副 会 長 小川 高弘
 幹 事 岡本 慎一
 会報委員長 中塚 賀晴

Light Up Rotary

ロータリーに輝きを

2014~2015 年度 国際ロータリー会長 ゲイリーC. K. ホアン

第 1952 回例会 平成 26 年 12 月 24 日 (水曜日) 第 18 号

本日の例会 12月24日(水) 第4例会

クリスマス家族会

大阪マリオット都ホテル 20F 『茜』

ハルカス展望台 17:00 (20Fロビー集合)

移動例会 18:30

クリスマス会 19:00

◎ 12月29日は年末休会

次回の例会 1月5日(月) 第1例会

東大阪中央ロータリークラブ新年会

移動例会 17:30

新年会 18:00

前回の例会 12月15日(月) 第3例会

会長挨拶 会長 細川 勝治

本日は、2014年度の最終の正式例会です。例会終了後、年次総会を開催致しますので宜しくお願い致します。

年内の行事としては来週24日(水)アベノハルカス内のマリオット都ホテルにてクリスマス家族会があります。当日は、岡田親睦委員長をはじめ委員の皆様にはお世話をお掛けします。会員の皆様方には、ご家族、御友人共々お楽しみ頂きます様、お待ちしております。

昨日の選挙では、自民党の圧勝で終わりましたが、それにより来年は景気も株も右肩上がりになりますように期待しております。

今年も残り僅かですが、皆様方には来年も良い年であります様、お祈り申し上げます。

幹事報告 幹事 岡本 慎一

1. 次週12月22日(月)は24日のクリスマス家族会の振替休会です。
2. 24日(水)のクリスマス会のプログラム及び集合時間等の詳細を配布しております。ご確認をお願い致します。

出席報告 中村 委員

本日の会員数	28名
本日の出席者数	22名
本日の出席規定適用免除会員	9名
本日の出席率	88.00%
11月15日の修正出席率	78.26%

ニコニコ箱報告 岩橋副SAA

細川会長 今年色々有り難うございました。来年も宜しくお願い致します。

岡本幹事 半年間、ご指導有難うございました。今後とも宜しくお願い致します。

佐藤会員 藤原会員、前例会にてワインを頂き有難うございました。クリスマス・イブに頂きます。

会長年末挨拶 会長 細川 勝治

7月に会長挨拶をさせて頂き半年ですが、会員皆様の温かい支えにより無事に例会行事を行ってまいりました。

各委員会委員長はじめ委員の皆様方、お役目を充分果たして頂きまして、ありがとうございます。

岡田親睦委員長には9月の第1回ゴルフ同好会。10月に1泊2日の秋の家族会での伊勢神宮にお参り、おかげ横丁での散策等。又12月には忘年会を行い、大変お世話になりました。

金子国際奉仕委員長には、地区の補助金を利用してのフィリピンの貧困地域にあるスラ地区の小学校と保健センターに対する（衛生設備、教育用視聴覚機器）プロジェクトを実施して頂きました。

百済情報委員長には、8月と11月、2回の情報集会を実施して頂き新入会員の長堀会員を交えて、和やかな雰囲気の中での意見交換が出来ました。

宮田クラブ研修委員会リーダーには、10月と11月、2回に亘ってロータリーの色々な貴重な話をして頂き、ロータリアンの心得を学ばせて頂きました。

佐井ロータリー財団委員長には、地区よりの当クラブ今期寄付金目標にご努力頂きましてありがとうございます。

岩崎米山記念奨学委員長には、2014年4月から1年間アメリカ国籍のサルバ・ミシュカ・カシル君のお世話をして頂いています。カウンセラーは金子会員にお願いしております。皆様宜しくお願い致します。

浅野会員増強委員長には、長堀会員を私と一緒に入会の努力をして頂きました。今後共、会員増強宜しくお願い致します。

最後になりましたが皆様方におかれましては、来年も良い年であります様、お祈りしまして、年度末会長挨拶と致します。

【年次総会】

只今より、東大阪中央ロータリークラブ細則第4条第1節の規定により2014～2015年度年次総会を開催致します。

細則第2条第2節における次年度、理事役員12名を12月の理事会で承認されましたので、年次総会での御

承認を得たく存じます。

理事名は、三木(会長)、小川(会長ノミニー)、佐藤(幹事)中村(会計)、岩崎(SAA)瀧田、百済、浅野、岩崎、佐井、金子、長堀、各会員です。

本案に賛同される方は、挙手をお願い致します。有り難うございました。満場一致で承認されました。

三木様を初め、次期役員理事の皆様、宜しくお願い致します。以上を落ちまして、年次総会を終了致します。

米山奨学生レポート

サルバ・ミシュカ・カシル

日本人の学生と同じ一般生として、更には大学院生としてのスタートに不安を募らせた当初から、およそ1年半—これまでの生活を振り返りたいと思います。

入学当初、私はアメリカの大学生活との違いに沢山気付きました。アメリカでは見ることのない入学式をはじめ、授業登録などのたくさんのシステムがオンラインではなく紙媒体で行われていることなどもその一つです。

中でも、私自身も教育を研究するものとして、授業形態については特に考えるところがありました。本学で私が受講した多くの授業は、学生の研究に協力的で、参加型の授業に熱心な先生方の指導の下進んでいきましたが、まだ多くの先生方が、一方向の講義や講読を中心とした授業を行っていました。日本の教育現場では、昨今、そうした受動的な講義に疑問を投げかけた「反転授業」というアプローチが提唱されていますが、アメリカの高等教育は所謂その「反転」が通常ですので、私にとって、講義型は大変新鮮でした。一方で、それらは受身ではあるものの、じっくりと手厚く教えられたり、私のように日本語を外国語とした学生の読解力を高めたりするという良さにも気づきました。結果、私自身が高い意識を持てば、どの授業も必ず役に立つものだと実感しました。

また、何より私自身は、大学院生活そのものが「希望を持つほど、形として実現できる」ということを日々感じることができました。受講する授業以外にも、大学院は学会や研究の参加機会に溢れています。私も国内外問わず学会で発表したり、先生方の実験を現場で補助させて頂きました。こうした機会を作ってくださった本学、そしてその毎日をサポートくださった米山ロータリーの存在には、感謝の気持ちでいっぱいです。残り半年間は、充実した学生生活や感謝を表す思いも含めて、修士論文の完成に励む所存です。

